

なかよし学級 生活単元学習指導案

日 時 平成 28 年 10 月 18 日 (火) 公開授業 I
児 童 4 年生男子 1 名 女子 2 名 計 3 名
指導者 須 藤 明 美 (T1)
小野寺 文 子 (T2)
支援員 一 井 恵 子

1 単元名 感謝の会をしよう

2 単元について

(1) 児童について

特性に応じた指導を行うために、なかよし 1 組 (知的障がい支援学級) 2 名、なかよし 2 組 (自閉症・情緒障がい支援学級) 1 名と、国語と算数は別れて学習しているが、小集団の良さを生かすため生活単元学習や自立活動は合同で行っている。

A (4 年女子・知的障がい支援学級) 言葉でのやりとりが得意で、文章の読み取りも的確である。何事にも一生懸命に取り組むが、注意力不足な面が見られる。失敗したり他人から指摘を受けたりすると、動きが止まってしまうことがある。手先をうまく使えないことがあるが作業は最後まで根気強く取り組むことができる。話し合いの時はリーダーシップを取り進める場面が多くなっている。さらに自信を持ち、主張できるようにさせたい。

B (4 年女子・知的障がい支援学級) 今年度からの入級である。言葉の理解力や数概念の理解が課題である。体験的な学習を取り入れ、スモールステップの指導を行っている。上手に周りに合わせて行動するが、一斉の指示では理解していないことがある。手先が器用で、手本の通りに物事を作成したり書いたりすることが得意である。活動の内容を理解し、自分の言葉で語らせたい。

C (4 年男子・自閉症・情緒障がい支援学級) 自分の都合の良いようにルールを変えたがることが多い。興味があることには積極的に取り組み知識も豊富だが、取り組み方にムラがある。こだわりや、食や音に対する過敏性が若干あり、事前に内容を知らせたり練習時間を設けたりすることで落ち着いて学習することができる。話し合う機会を重ねることで、我慢したり譲ったりする場面が見られるようになってきた。書くことに抵抗をもち書く活動をいやがるが、書けたところまでを評価されることで意欲が高まっている。人と関わり、決められたルールに沿って生活する力をつけさせたい。

(2) 単元について

個性のある子どもの小集団である。それぞれの活動の成果や考えを交流することで、得意なところを伸ばして自信につなげるとともに、お互いの良さを認め自分の弱いところを補えるようにしたいと考えた。そしてコミュニケーション能力を高め、将来につながる社会性を身につけさせたい。

『はじめましての会をしよう』では保護者を招待し、簡単な調理でもてなすことや、新学期のめあてを発表することで人前で発表する経験をした。『たなばた会をしよう』では、個人課題を取り入れ、それぞれが得意なことや伸ばしたい力に関した課題に取り組み、参観者とコミュニケーションを取る経験をした。その間、継続して畑の野菜を育てたり販売したりという活動も行ってきた。

本単元では、これまで活動してきた内容に加え、自分たちの活動を支えてくれた人たちの存在に気づかせたい。特に、畑の準備をしてくれた用務員さんに焦点を絞り、働くことの大切さ大変さに触れ、これまでの学習を生かして感謝の気持ちを伝えることについて考えさせたい。

系統表

4月	5月	6月	7月	8月	9月
やさいをそだてよう					
・作物の決定	・種まき 苗植え	・畑の世話			
			・収穫, 販売		・試食

4月	5月	6, 7月	7月	9, 10月
はじめましての会をしよう。	運動会がんばったね会をしよう。	たなばた会をしよう。	1学期がんばったね会をしよう。	感謝の会をしよう。
・クッキング ・お客様招待 ・発表	・発表	・個人課題 ・ゲーム ・発表	・買い物 ・発表	・クッキング ・個人課題 ・お客様招待 ・発表

12月	3月
2学期がんばったね&クリスマス会をしよう	修了おめでとう会をしよう。
・クッキング ・発表	・買い物 ・発表

(3) 指導にあたって

- 次のようなことに留意していきたい。
- ・個人の学習内容を交流させることで友達の良さに気づかせ、その気持ちを表出する機会を盛り込む。
 - ・学習の幅を広げることができるように、交流の場を工夫する。
 - ・人に頼らず、自分の言いたいことを言葉にできるようにさせる。
 - ・分からないからといってすぐあきらめずに挑戦できるようにさせる。
 - ・相手の気持ちを考えたり友達と協力したりできるような内容を盛り込む。
 - ・本校の研究に照らし合わせ、交流に重点を置くよう留意する。

3 単元の目標

- ・春に畑の準備をしてくれた用務員さんの仕事の内容を理解し、感謝の気持ちをもつことができる。
- ・自分たちで交流しながら企画することができる。
- ・自分たちが楽しむだけでなく、招待者を意識して会を進めることができる。

4 単元の評価規準

児童	関心・意欲・態度	交流	知識・技能
A	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に向かって楽しみながら意欲的に取り組んでいる。 ・感謝の気持ちを持ち、伝え方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで話し合いを進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを取りながらインタビューをして、発表原稿にまとめることができる。 ・グラフを読み取ることができる

B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を理解し、楽しみながら取り組んでいる。 ・感謝の気持ちをもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼント作りについて説明することができる。 ・お金の読み取りができる。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら活動に参加している。 ・感謝を自分なりの表現で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話を聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを箇条書きにまとめることができる。 ・収穫数を表やグラフに表すことができる。

5 指導計画（全 11 時間）

時	学習内容	評価規準
1	用務員さんの仕事を見学しよう。 体験させてもらおう。	用務員さんの仕事に興味をもち、感謝の気持ちを深めることができる。
2	学習することを知ろう。 会の内容を決めよう。 招待状を書こう。	感謝の気持ちを伝える会を開くことを理解し、喜んでもらえる内容を考えることができる。
3	リーダーを決めよう。 内容を考えよう。 A 用務員さんの仕事についてのレポート B プレゼントの作り方 売上金額 C 収穫量の表とグラフ	先生が提案した内容について、自分の意見を言いながら、友達と相談することができる。 友達に伝えることを考えながら、先生と内容を話し合うことができる。
4 (本時)	用務員さんの仕事についてまとめよう（リーダー A さん）	友達に、やってもらいたいことを伝えながら、協力して作業をすることができる。 仕事について感想を持つことができる。
5	プレゼントを作ろう (リーダー B さん)	友達に、やってもらいたいことを伝えながら、協力して作業をすることができる。 感謝の気持ちを込めて、プレゼントを作ることができる。
6	収穫量の表やグラフをつくらう (リーダー C さん)	友達に、やってもらいたいことを伝えながら、協力して作業をすることができる。 数量を意識してグラフを作ることができる。
7 8	かぼちゃケーキを作ろう	協力して調理することができる。
9 10	感謝の会をしよう	自分の分担に責任を持って取り組み、感謝の会をすることができる。
11	しんぶんを書こう	これまでの時間を振り返り、しんぶんを書くことができる。

6 本時の指導

(1) 目標

友達と協力して作業し、用務員さんの仕事について感想をもつことができる。

(2) 個人目標

A：リーダーとして、友達に作業の内容をわかりやすく伝え、協力してまとめるこ

とができる。

B：内容を理解し、友達と協力して作業することができる。

C：友達の話聞いて仲良く作業することができる。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点	備考
はじめ 5分	1 『感謝の会』について取り組んできたことを想起する 2 本時の課題を知る <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">用務員さんの仕事についてまとめよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までやってきたことを短時間で確認する ・C 児の気分が乗らないときは、無理させず様子を見守る (教室から出たときは支援員が見守る) 	学習プリント
なか 30分	3 今日の作業について知る。 ①リーダー A 児が作業の指示を出す仕事姿の写真に、見学やインタビューしてわかった仕事内容を紹介する文や、感想やメッセージを添えることを説明する。 ②それぞれ作業をする。 A：コメント書き，総括 B：コメント書き，レイアウト C：貼り付け 等 ③できたものを合わせて完成させる。 ④発表練習をする。 発表のよかったところを教えあう。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に先生と話し合っただけ決めた分担任や注意事項を発表させる。 ・C 児が書くことをいやがったときは無理強いせず、他の方法もあることをアドバイスする。 (他の人に書くことを頼む、記号や花丸を描く、シールを貼る、等) ・『感謝の会』でも元気に発表するよう、励ましの言葉をかける。 	学習プリント 担任がサポート
おわり 10分	4 感想発表 学習プリントに感想を書く。 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばりをほめる。 花丸をつける。 	学習プリント

(4) 評価

ア 全体の評価

友達と協力して作業し、用務員さんの仕事について感想をもつことができたか。

イ 個人の評価

A：リーダーとして、友達に作業の内容をわかりやすく伝え、協力してまとめることができたか。

B：内容を理解し、友達と協力して作業することができたか。

C：友達の話聞いて仲良く作業することができたか。